

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月21日

上場取引所 大

上場会社名 モーニングスター株式会社

 コード番号 4765 URL <http://www.morningstar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役COO

(氏名) 朝倉 智也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 平成23年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトで開催予定)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	560	△7.7	154	8.0	180	6.6	103	9.7
23年3月期第1四半期	607	9.3	142	125.9	169	87.9	94	94.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 103百万円 (6.4%) 23年3月期第1四半期 97百万円 (119.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	373.70	—
23年3月期第1四半期	351.45	351.18

24年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	7,500	7,273	97.0	26,076.15
23年3月期	7,689	7,381	89.4	25,668.28

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,273百万円 23年3月期 6,876百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	750.00	750.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社の配当基準日は第2四半期末日及び期末日ですが、平成24年3月期の期末日における配当予想額は現時点で未定であります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

次期の業績予想につきましては、東日本大震災に伴う電力不足等による経済活動への影響やそれによる金融業界の動向を予想するのは難しく、これらが当社グループの業績に与える影響について合理的な算定が困難なことから、現時点では未定とさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	279,128 株	23年3月期	271,192 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	195 株	23年3月期	3,310 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	276,409 株	23年3月期1Q	267,882 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 24年3月期期末の配当予想は未定ですが、今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。
2. 当社は、平成23年7月1日に子会社ゴメス・コンサルティング株式会社と合併いたしました。詳細は、「4. 連結財務諸表、注記事項(重要な後発事象)」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(追加情報)	9
注記事項	9
(四半期連結貸借対照表関係)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー関係)	9
(株主資本等関係)	10
(株主資本の金額の著しい変動)	10
(企業結合関係)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14
補足情報	16
5. 四半期財務諸表	16
(1) 四半期貸借対照表	16
(2) 四半期損益計算書	18
(追加情報)	18
注記事項	18
(四半期貸借対照表関係)	18
(四半期損益計算書関係)	19
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	20

## 1. 当四半期決算の連結業績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期決算短信提出日現在において、当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）の連結業績は、売上高が前年同四半期（平成22年4月1日～平成22年6月30日）の607百万円から46百万円（△7.7%）の減収となる560百万円となりました。

セグメント別には、金融情報評価・情報提供・コンサルティングの当第1四半期連結累計期間の売上高は、485百万円と前年同四半期の502百万円から17百万円（△3.4%）の減収となりました。また、営業費用は、一昨年来のコスト削減活動により、前年同四半期の365百万円から31百万円（△8.6%）減少し333百万円となりました。その結果、金融情報評価・情報提供・コンサルティングの営業利益は、前年同四半期の136百万円から13百万円（9.6%）の増益となる150百万円となりました。

ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティングの売上高は、前年同四半期の104百万円から29百万円（△28.2%）の減収となる75百万円となりました。また、営業費用は、前年同四半期の99百万円から26百万円（△27.2%）減少し、72百万円となりました。その結果、ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティングの営業損益は、前年同四半期の6百万円から、1百万円（△29.0%）の減益となる4百万円となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の142百万円から11百万円（8.0%）の増益となる154百万円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の169百万円から11百万円（6.6%）の増益となる180百万円となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同四半期の94百万円から9百万円（9.7%）の増益となる103百万円となりました。

セグメント別及び商品・サービス別販売実績は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		増加率(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
金融情報評価・情報提供・コンサルティング					
コンサルティング	97,505	16.1	85,443	15.2	△12.4
データ・ソリューション	332,075	54.7	318,812	56.9	△4.0
メディア・ソリューション	73,008	12.0	81,023	14.5	11.0
セグメント売上	502,589	82.8	485,279	86.6	△3.4
ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティング					
ウェブ・コンサルティング	104,678	17.2	75,207	13.4	△28.2
セグメント売上	104,678	17.2	75,207	13.4	△28.2
連結売上高	607,267	100.0	560,487	100.0	△7.7

① 金融情報評価・情報提供・コンサルティング

・コンサルティング

セミナー関連の売上は減少いたしました。モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言売上が増加いたしました。その結果、コンサルティングの売上高は、前年同四半期の97百万円から12百万円（△12.4%）の減収となる85百万円となりました。

・データ・ソリューション

ファンドデータ・レポートほか、ファンド関連の売上が増加したものの、日刊「株式新聞」ほか株式関連の売上が減少いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上は、前年同四半期の332百万円から13百万円（△4.0%）の減収となる318百万円となりました。

・メディア・ソリューション

ウェブ広告に係わる売上が増加いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の73百万円から8百万円（11.0%）の増収となる81百万円となりました。

② ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティング

・ウェブ・コンサルティング

サイト構築売上は増加したものの、アドバイザー、コンサルティング売上が減少し、前年同四半期の104百万円から29百万円（△28.2%）の減収となる75百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産合計は前連結会計年度末と比較して189百万円減少し、7,500百万円となりました。

これは主として、流動資産が前連結会計年度末と比較して183百万円減少し、6,731百万円となったこと、固定資産が前連結会計年度末と比較して7百万円減少し、767百万円となったことによるものであります。

流動資産の減少は、主として配当金の支払200百万円行なったことにより、現金及び預金が239百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産の減少は、主としてソフトウェアの償却によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して80百万円減少し、227百万円となりました。

負債の減少は、主としてコスト削減による営業費用の減少により、買掛金が7百万円減少したこと、法人税等の支払のタイミングにより、未払法人税等が61百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結累計期間に103百万円の四半期純利益が計上され、200百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が105百万円減少いたしました。

子会社ゴメス・コンサルティング株式会社との株式交換により、その他の資本剰余金が387百万円増加し、自己株式が116百万円減少いたしました。また、株式交換により、ゴメス・コンサルティング株式会社が完全子会社となったため、少数株主持分が505百万円減少しゼロとなりました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して108百万円減少し、7,273百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成23年4月22日に子会社ゴメス・コンサルティング株式会社を株式交換により完全子会社化および上場廃止を行い、平成23年7月1日に合併いたしました。また、事務所の統合も行なっております。

この経営統合より上場費用、監査費用、賃借料その他のコストの大幅削減を図り、経営統合によりサービス内容の向上、営業力の強化をいたします。

また、急速に変化する情報環境に迅速かつ適切に対応できる体制を構築し、常に最新の情報機器、コミュニケーションツールを活用した商品・サービスを提供していきたいと考えております。

また、より一層グローバル・アセット・アロケーションの進展に対応すべく、海外金融情報を強化いたしたいと考えております。

次期の業績予想につきましては、東日本大震災に伴う電力不足等による経済活動への影響やそれによる金融業界の動向を予想するのは難しく、これらが当社グループの業績に与える影響について合理的な算定が困難なことから、現時点では未定とさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲に変更はありません。

なお、子会社ゴメス・コンサルティング株式会社は、平成23年4月22日に当社との株式交換により、当社の完全子会社となりました。

詳細は、4. 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合関係）に記載のとおりであります。

また、当社と子会社ゴメス・コンサルティング株式会社は、平成23年7月1日に合併いたしました。

詳細は、4. 四半期連結財務諸表 注記事項（重要な後発事象）に記載のとおりであります。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,028,445	1,789,300
売掛金	276,281	305,071
有価証券	4,569,193	4,569,209
たな卸資産	※1 2,390	※1 3,844
繰延税金資産	17,629	9,757
その他	24,240	57,464
貸倒引当金	△2,875	△2,845
流動資産合計	6,915,305	6,731,802
固定資産		
有形固定資産	※2 31,065	※2 30,529
無形固定資産		
のれん	118,560	116,717
その他	230,362	227,256
無形固定資産合計	348,922	343,974
投資その他の資産		
投資有価証券	70,917	70,888
繰延税金資産	2,817	2,815
その他	320,695	319,025
投資その他の資産合計	394,430	392,728
固定資産合計	774,418	767,232
繰延資産		
株式交付費	—	1,680
繰延資産合計	—	1,680
資産合計	7,689,724	7,500,715

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,530	34,079
未払金	93,654	88,228
未払法人税等	130,225	68,335
未払消費税等	15,653	17,132
役員賞与引当金	8,250	—
その他	16,173	16,984
流動負債合計	305,486	224,760
固定負債		
資産除去債務	2,442	2,455
固定負債合計	2,442	2,455
負債合計	307,929	227,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,093,080	2,093,080
資本剰余金	2,821,637	3,208,782
利益剰余金	2,083,242	1,977,254
自己株式	△121,812	△5,523
株主資本合計	6,876,147	7,273,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77	△94
その他の包括利益累計額合計	△77	△94
少数株主持分	505,724	—
純資産合計	7,381,794	7,273,499
負債純資産合計	7,689,724	7,500,715



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	607,267	560,487
売上原価	297,704	276,372
売上総利益	309,563	284,114
販売費及び一般管理費	※1 166,574	※1 129,686
営業利益	142,988	154,428
営業外収益		
受取利息	26,957	26,680
受取配当金	21	16
その他	572	83
営業外収益合計	27,551	26,780
営業外費用		
支払利息	17	—
為替差損	14	427
株式交付費	—	152
持分変動によるみなし売却損	1,118	—
その他	0	22
営業外費用合計	1,151	602
経常利益	169,388	180,606
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,000	—
持分変動によるみなし売却損	—	1,463
特別損失合計	2,000	1,463
税金等調整前四半期純利益	167,388	179,143
法人税、住民税及び事業税	65,529	67,964
法人税等調整額	4,786	7,885
法人税等合計	70,316	75,849
少数株主損益調整前四半期純利益	97,072	103,293
少数株主利益	2,925	—
四半期純利益	94,147	103,293

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97,072	103,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	△17
その他の包括利益合計	△49	△17
四半期包括利益	97,023	103,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,098	103,276
少数株主に係る四半期包括利益	2,925	—

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
※1 たな卸資産の内訳	※1 たな卸資産の内訳
仕掛品 392千円	仕掛品 1,001千円
貯蔵品 1,997千円	貯蔵品 2,842千円
※2 有形固定資産の減価償却累計額 193,598千円	※2 有形固定資産の減価償却累計額 203,092千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目
役員報酬 9,564千円	役員報酬 10,076千円
従業員給与 60,005千円	従業員給与 39,060千円
荷造運賃 23,618千円	荷造運賃 22,039千円
株式業務費 7,525千円	株式業務費 10,270千円
支払報酬 10,682千円	支払報酬 5,867千円
賃借料 4,388千円	賃借料 3,257千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費 24,255千円	減価償却費 23,769千円
のれんの償却額 1,842千円	のれんの償却額 1,842千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年5月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	160,729	600	平成22年3月31日	平成22年6月4日

- (2) 基準日が当連結会計年度開始の日から当第1四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年5月20日 取締役会	普通株式	利益剰余金	200,911	750	平成23年3月31日	平成23年5月31日

- (2) 基準日が当連結会計年度開始の日から当第1四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成23年4月22日に、子会社であるゴメス・コンサルティング株式会社(以下、ゴメス・コンサルティング)と株式交換(以下、本株式交換)を行ない、同社を完全子会社といたしました。

当社は、本株式交換が効力を生ずる時点の直前時のゴメス・コンサルティングの株主名簿に記載または記録された株主(当社を除く、以下同じ)に、所有するゴメス・コンサルティングの普通株式の株式数の合計に2.2を乗じた11,246株の当社の普通株式を割当て交付いたしました。

当社は、本株式交換により交付する11,246株のうち、3,310株については当社が保有する自己の普通株式を充当し、残り7,936株について当社の新株を発行いたしました。

その結果、その他の資本剰余金が387百万円増加し、自己株式が121百万円減少いたしました。

ゴメス・コンサルティングの株主に割り当てた株式のうち、当社株式で1株に満たない端株の合計195株を、平成23年6月30日に5百万円で買取り、自己株式に計上しております。

また、剰余金の配当を200百万円、およびゴメス・コンサルティングにおいて少数株主への配当を8百万円行い、四半期純利益を103百万円計上した結果、株主資本は前連結会計年度末に比べ397百万円増加いたしました。

(企業結合関係)

前第1四半期連結会計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

記載すべき事項はありません。

当第1四半期連結会計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

共通支配下の取引等

- 1 結合当事企業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要
  - (1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容  
ゴメス・コンサルティング株式会社（以下、ゴメス・コンサルティング）  
（事業の内容：ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティング）
  - (2) 企業結合日  
平成23年4月22日
  - (3) 企業結合の法的形式  
株式交換
  - (4) 結合後企業の名称  
モーニングスター株式会社
  - (5) 取引の目的を含む取引の概要  
株式交換によるゴメス・コンサルティングの完全子会社化は、上場の廃止により株式上場の維持費用ほかのコストの削減を図ること、経営統合によりサービス内容の向上、営業力の強化、急速に変化する情報環境に迅速かつ適切に対応できる体制構築を目的とするものであります。
- 2 実施した会計処理の概要  
「企業結合に係る会計基準 三 企業結合に係る会計基準 4 共通支配下の取引等の会計処理 (2) 少数株主との取引」に規定する個別財務諸表上及び連結財務諸表上の会計処理を適用いたしました。
- 3 子会社株式の追加取得に関する事項
  - (1) 取得原価及びその内訳  
子会社株式を、508百万円追加取得いたしました。  
また、四半期連結貸借対照表においては、少数株主持分が508百万円減少いたしました。それに伴い、その他の資本剰余金が387百万円増加し、自己株式が121百万円減少しております。
  - (2) 株式種類別の交換比率及びその算定方法並びに交付株式数及びその評価額
    - ① 株式の種類及び交換比率  
ゴメス・コンサルティングの普通株式1株に対して、当社の普通株式2.2株を割当て交付いたしました。
    - ② 本株式交換により交付した株式数  
普通株式 11,246株
    - ③ 本株式交換により新たに発行した株式数  
本株式交換により交付した株式数のうち、3,310株については当社が保有する自己の普通株式を充当し、残り7,936株について、当社の新株を発行いたしました。
    - ④ 交換比率の算定方法  
当社及びゴメス・コンサルティングは、本株式交換の公正性・妥当性を確保する観点から、両社は個別に独立した第三者算定機関を選定し、当社は新日本アーンストアンドヤング税理士法人に、当社は日比谷監査法人に、それぞれ株式交換比率の算定を依頼し、その算定結果の報告を受けました。その後、当社及びゴメス・コンサルティングはかかる算定結果を参考に、慎重に交渉・協議を行い、株式交換比率を決定いたしました。
    - ⑤ 交付株式数及びその評価額  
11,246株 508,957千円
    - ⑥ 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融情報評 価・情報提 供・コンサル ルディング	ウェブサイト 評価・情報提 供・コンサル ディング	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	502,589	104,678	607,267	—	607,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	500	500	△500	—
計	502,589	105,178	607,767	△500	607,267
セグメント利益	136,936	6,051	142,988	—	142,988

(注) 1. セグメント利益の調整額500千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融情報評 価・情報提 供・コンサル ルディング	ウェブサイト 評価・情報提 供・コンサル ディング	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	485,279	75,207	560,487	—	560,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,228	1,228	△1,228	—
計	485,279	76,435	561,715	△1,228	560,487
セグメント利益	150,129	4,299	154,428	—	154,428

(注) 1. セグメント利益の調整額1,228千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	351円45銭	373円70銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	94,147	103,293
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	94,147	103,293
普通株式の期中平均株式数(株)	267,882	276,409
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	351円18銭	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	73	
(うち、子会社の発行する潜在株式による四半期純利益調整額)(千円)	73	
普通株式増加数(株)	—	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	

(重要な後発事象)

前第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結会計期間末(平成23年6月30日)

(子会社との合併)

当社は、平成23年5月20日開催の当社取締役会において、子会社であるゴメス・コンサルティング株式会社(以下、ゴメス・コンサルティング)と合併することを決議し、合併契約を締結し、平成23年7月1日に合併の効力が発生いたしました。

なお、当社は、会社法第796条第3項、ゴメス・コンサルティングは同第784条第1項に基づき、株主総会の承認決議を経ずに合併を行いました。

1. 合併の目的

当社は、ゴメス・コンサルティングと平成23年4月22日を効力発生日として株式交換を行い、ゴメス・コンサルティングを当社の完全子会社といたしました。これにより、ゴメス・コンサルティングの株式は、平成23年4月19日に上場廃止となっております。

当社は、「中立・客観的立場から豊富で偏りのない金融情報を提供し、投資家の皆様の資産形成に役立つこと」を目指しております。そのためには、投資家の皆様への情報伝達手段を開発・改良することが不可欠と考えております。

当社は、スマートフォンやiPadなどの最新の情報端末による金融情報提供を行い、資産運用やIRなどのセミナーにUstream、Twitter、Facebookなどの最新コミュニケーションツールを活用するなど、金融市場、インターネット環境の変化に対応し、成果をあげております。

株式交換で完全子会社としたゴメス・コンサルティングは、このような最新端末・コミュニケーションツールの技術とノウハウを有しております。ゴメス・コンサルティングの技術とノウハウを活用し、当社グループが、より情報環境の変化に対応できる体制を構築し、常に最新の情報機器、コミュニケーションツールを活用した商品・サービスを開発し、当社およびゴメス・コンサルティングの顧客に提供するためには、合併により、組織を統合する必要があると判断いたしました。

また、ゴメス・コンサルティングとの株式交換の目的の一つに、上場の廃止により株式上場の維持費用ほかのコストの削減を図ることがありますが、合併により、賃借料、監査費用そのほかの管理諸費用をさらに削減することが可能になると考えております。

2. 合併の趣旨

(1) 合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、ゴメス・コンサルティングは解散いたしました。

(2) 合併に係る割当ての内容

当社は、ゴメス・コンサルティングの発行済株式の全部を保有しており、本合併による新株式の発行および資本金の増加はありません。

(3) 合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当する事項はありません。

3. 会計処理の概要

「企業結合に係る会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分)に基づき、共通支配企業の形成として処理しております。

4. 本合併後の状況

- (1)名称 モーニングスター株式会社
- (2)資本金 本合併による資本金の変更はありません。
- (3)純資産 本合併による連結純資産の変動はありません。
- (4)総資産 本合併による連結総資産の変動はありません。
- (5)のれん 本合併によるのれんの発生はありません。
- (6)連結業績 本合併による連結業績への影響はありません。



5. 被合併会社のゴメス・コンサルティング株式会社の概要 (平成23年6月30日現在)

(1) 商号	ゴメス・コンサルティング株式会社		
(2) 事業内容	ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティング		
(3) 設立年月日	平成13年3月22日		
(4) 本店所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号		
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役執行役員CEO兼COO 森澤 正人		
(6) 資本金の額	622,738千円		
(7) 発行済株式数	15,077株		
(8) 純資産	1,481,974千円		
(9) 負債の額	29,680千円		
(10) 総資産	1,511,654千円		
(11) 従業員数	16名		
(12) 大株主及び持株比率	モーニングスター(株) 100%		
(13) 当事会社間の関係等			
① 資本関係	当社は、ゴメス・コンサルティングの発行済株式総数(15,077株)の100%を保有しております。		
② 人的関係	ゴメス・コンサルティングの取締役4名のうち1名が、当社の取締役を兼務し、監査役4名のうち1名が、当社の取締役を兼務しております。		
③ 取引関係	ウェブに関連するサービスの提供等の取引があります。		
(14) 最近3決算期間の業績	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	404,409千円	393,844千円	394,788千円
営業利益及び営業損失(△)	△45,682千円	11,103千円	8,456千円
経常利益及び経常損失(△)	△35,188千円	33,130千円	31,751千円
当期純利益及び当期純損失(△)	△21,661千円	26,018千円	20,276千円
1株当たり当期純利益及び1株当たり当期損失(△)	△1,476.85円	1,773.97円	1,377.30円
1株当たり配当金	－円	400円	1,650円
1株当たり純資産	98,351.64円	100,125.61円	99,709.02円

## 【補足情報】

四半期財務諸表について

掲載した四半期財務諸表は、法定開示におけるレビューの対象とはならないものです。

当第1四半期財務諸表は、「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

## 5. 四半期財務諸表

### (1) 四半期貸借対照表

区分	注記 番号	前事業年度の要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成23年6月30日)
(資産の部)			
I 流動資産			
1 現金及び預金		1,447,108	1,262,576
2 売掛金		171,947	207,821
3 有価証券		3,569,193	3,569,209
4 たな卸資産	※1	2,390	3,844
5 繰延税金資産		6,959	8,822
6 その他		36,245	44,502
7 貸倒引当金		△2,875	△2,845
流動資産合計		5,230,970	5,093,932
II 固定資産			
1 有形固定資産	※2	30,010	29,547
2 無形固定資産			
(1) のれん		118,560	116,717
(2) その他		227,711	224,819
無形固定資産合計		346,271	341,537
3 投資その他の資産			
(1) 投資有価証券		70,917	70,888
(2) 関係会社株式		407,732	916,690
(3) 繰延税金資産		2,874	2,867
(4) その他		288,561	286,891
投資その他の資産合計		770,085	1,277,337
固定資産合計		1,146,368	1,648,421
II 繰延資産			
1 株式交付費		—	1,680
繰延資産合計		—	1,680
資産合計		6,377,338	6,744,034

区分	注記 番号	前事業年度の要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成23年6月30日)
(負債の部)			
I 流動負債			
1 買掛金		30,442	24,688
2 未払金		68,035	75,811
3 未払法人税等		103,609	59,685
4 未払消費税等		10,970	13,974
5 役員賞与引当金		8,250	—
6 その他		12,022	13,931
流動負債合計		235,686	188,091
II 固定負債			
1 資産除去債務		2,442	2,455
固定負債合計		2,442	2,455
負債合計		238,129	190,546
(純資産の部)			
I 株主資本			
1 資本金		2,093,080	2,093,080
2 資本剰余金			
(1) 資本準備金		2,484,387	2,484,387
(2) その他の資本剰余金		337,250	724,395
資本剰余金合計		2,821,637	3,208,782
3 利益剰余金			
繰越利益剰余金		1,346,381	1,257,243
利益剰余金合計		1,346,381	1,257,243
4 自己株式		△121,812	△5,523
株主資本合計		6,139,286	6,553,582
II 評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金		△77	△94
評価・換算差額等合計		△77	△94
純資産合計		6,139,209	6,553,487
負債純資産合計		6,377,338	6,744,034

(2) 四半期損益計算書

区分	注記 番号	前四半期累計期間		当四半期累計期間	
		(自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)		(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	
I 売上高			480,697		461,513
II 売上原価			221,182		217,658
売上総利益			259,515		243,855
III 販売費及び一般管理費			136,289		109,334
営業利益			123,225		134,520
IV 営業外収益	※1		36,809		36,042
V 営業外費用	※2		32		602
経常利益			160,002		169,960
VI 特別損失	※3		2,000		—
税引前四半期純利益			158,002		169,960
法人税、住民税及び事業税		55,431		60,032	
法人税等調整額		6,326	61,758	△1,845	58,186
四半期純利益			96,243		111,773

(追加情報)

当第1四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

前事業年度末 (平成22年 3 月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成23年 6 月30日)
※1 たな卸資産の内訳	※1 たな卸資産の内訳
仕掛品 392千円	仕掛品 1,001千円
貯蔵品 1,997千円	貯蔵品 2,842千円
※2 有形固定資産の減価償却累計額 193,598千円	※2 有形固定資産の減価償却累計額 196,417千円

## (四半期損益計算書関係)

前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
※1 営業外収益のうち主要な費目 受取利息 1,125千円 有価証券利息 20,090千円 受取配当金 15,021千円 雑収入 572千円	※1 営業外収益のうち主要な費目 受取利息 853千円 有価証券利息 20,089千円 受取配当金 15,016千円 雑収入 83千円
※2 営業外費用のうち主要な費目 支払利息 17千円 為替差損 14千円	※2 営業外費用のうち主要な費目 為替差損 427千円 株式交付費 152千円 雑損失 22千円
※3 特別損失の主な内訳 資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額 2,000千円	※3 -

## (1株当たり情報)

## 1. 1株当たり四半期純利益金額

前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 359.28円	1株当たり四半期純利益金額 404.38円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	同左

(重要な後発事象)

前第1四半期会計期間末(平成22年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期会計期間末(平成23年6月30日)

(子会社との合併)

当社は、平成23年5月20日開催の当社取締役会において、子会社であるゴメス・コンサルティング株式会社(以下、ゴメス・コンサルティング)と合併することを決議し、合併契約を締結し、平成23年7月1日に合併の効力が発生いたしました。

なお、当社は、会社法第796条第3項、ゴメス・コンサルティングは同第784条第1項に基づき、株主総会の承認決議を経ずに合併を行いました。

(1) 合併の目的

4. 四半期連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)に記載のとおりです。

(2) 合併の趣旨

4. 四半期連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)に記載のとおりです。

(3) 会計処理の概要

4. 四半期連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)に記載のとおりです。

(4) 合併後の状況

- ① 名称 モーニングスター株式会社
- ② 資本金 本合併による資本金の変更はありません。
- ③ 純資産 本合併により、純資産は595百万円増加いたしました。
- ④ 総資産 本合併により、総資産は623百万円増加いたしました。
- ⑤ のれん 本合併によるのれんの発生はありません。
- ⑥ 単体業績 本合併により、抱合わせ株式消滅差益(合併差益)595百万円が第2四半期の特別利益に計上されました。

(5) 合併により引き継いだ資産・及び負債

普通預金	412,640	千円	買掛金	9,390	千円
売掛金	61,123		未払金	12,864	
有価証券	1,000,000		未払消費税	2,133	
前払費用	2,136		未払法人税等	2,822	
繰延税金資産	405		前受収益	1,939	
その他	11,140		その他	528	
流動資産合計	1,487,445		流動負債合計	29,679	
器具備品	337		負債合計	29,679	千円
有形資産合計	337				
商標権	139				
ソフトウェア	192				
無形固定資産合計	332				
繰延税金資産	39				
長期差入保証金	22,209				
投資その他合計	22,249				
固定資産合計	22,918				
資産合計	1,510,364	千円			

(6) 被合併会社のゴメス・コンサルティング株式会社の概要(平成23年6月30日現在)

4. 四半期連結財務諸表 注記事項(後発事象)に記載のとおりです。